

平成29年度山梨県立図書館協力会活動報告

竹田 泉

私たち山梨県立図書館協力会は、案内・書架整理、代読サービス、環境整備、修理・ブックコート、外国語の絵本読み聞かせなどのボランティア活動を通して、利用者の皆様により良い環境、サービスを提供すべく、今年度は70名のメンバーで活動を開始しました。

平成30年1月18日(木)に、図書館・協力会の共催研修として協力員22名が参加し、長野県の塩尻市立図書館の見学会を実施いたしましたので、概略をご報告いたします。

見学に至る経緯は、平成29年6月に協力会自主研修として、塩尻市立図書館長を務められ、現在はライブラリアン・コーディネーターとして活躍されている、内野安彦先生のご講演をいただいたことに始まります。

その際紹介された、塩尻市立図書館における「本の寺子屋」という事業に大変感銘し、協力員の中から「一度現地を見学したい」という機運が高まり、今回の共催研修として見学会の実現に至りました。

塩尻市立図書館は、「えんぱーく」と呼ばれる市民交流センター、商工会議所等の複合施設の中核をなすものです。

早速、上條副館長の出迎えを受け、会議室にて中野館長より図書館の概要、「本の寺子屋」に関する取り組み、成果についてご説明いただきました。

「本の寺子屋」とは、講演会・市民講座などを通して、本の可能性を考える機会を市民に提供し、読書を習慣化していこうという取り組みです。

なかでも「本は単なる情報の集積ではなく、作り手の思いのこもった贈り物である」とのお言葉が印象に残りました。

引き続き館内を案内していただき、大きな吹き抜けのある読書スペース、映像・音楽メディアと書籍、楽譜と一緒に排架されている様子や、小さなお子さん連れでも利用しやすいようベビーカートを設置するなど、誰でも快適に利用できるような工夫に感銘を受けました。

その後、昼食を交えての質疑応答を行い、有意義な見学会を終了しました。

午後からは松本市に移動し、旧開智学校を見学しました。そこでは観光案内ボランティアの方々と交流し、予定通り日程を消化し帰路につきました。

今回得られた見分、経験を生かし、今後の協力会活動を活性化したいと考えております。